

## 和歌山県の干潟で多数が死亡したスタレハマグリ(二枚貝綱:マルスダレガイ科)

久保田 信<sup>1</sup>

Death of many individuals of *Katelsysia japonica* (Gmelin, 1791)  
(Bivalvia: Veneridae) in a mud flat in Wakayama Prefecture, Japan

Shin KUBOTA<sup>1</sup>

スタレハマグリ *Katelsysia japonica* (Gmelin, 1791) は南方系の二枚貝類で、主に九州以南のインド・太平洋沿岸の潮間帯直下から水深20 mに生息し、分布北限は紀伊半島沿岸である(松隈, 2000; Matsukuma, 2004; 木村, 2012)。今回、和歌山県西牟婁郡田辺市に所在する内之浦の干潟(田辺湾の最奥部)で、前回に報告したごく少数の記録と異なり(久保田, 2012)本種の多数の死殻が打ち上がっていたので記録する。

内之浦干潟で2014年3月から5月にかけて、毎月1回、大潮時に打ち上がった貝殻を採集した。干潟の北側全体をくまなく調査した結果、合弁死殻は少数のみで、多くは片方だけで、少なくとも68個体(殻長28–54 mm)が新鮮な状態だったのでサイズを計測した(Fig. 1)。よく成長した個体がほとんどで、殻長が41–49 mmの個体が最も多く36個体、続いて50–54 mmの個体が21個体であった。大型個体に対して小型個体は、殻長30–39 mmが9個体と28–29 mmが2個体と少数であった。これらの死殻の他に生体も発見されたが、ただ1個体だけであった。

内之浦干潟では過去に25年間(1976–2001年)に及ぶ生物相調査がなされているが、その当時は本種はまだ報告されていない(大垣ほか, 2001)。しかし、2003年から2005年の期間中に本種の死殻が少数発見され、2009年からは生体が多数採集された(前岩, 2012)。このことは、地球温暖化に伴う海水温の上昇によって田辺湾でも温帯性のムラサキイガイ *Mytilus galloprovincialis* Lamarck, 1819から熱帯性の近縁種ミドリイガイ *Perna viridis* (Linnaeus, 1758)へと著しい種の交代があった様に(久保田, 2011)、本種も出現が可能になったのであろう。しかし、2011年冬季に襲来した50年ぶりの寒波により南方系の魚種が多数死亡した様に(久保田ほか, 2011)、内之浦干潟でも本種の生体は少数となった(久保田, 2012; 前岩 崇氏による私信)。今回観察された多数の死

亡個体も今年の比較的強い寒波により、生残していた個体の多くが死亡したのであろう。幼体が少ないので定着ができていないのか、今後の継続調査が望まれる。

### 引用文献

- 木村昭一. 2012. スタレハマグリ. In 日本ベントス学会(編) 干潟の絶滅危惧動物図鑑, 149. 東海大学出版会, 東京.
- 久保田 信. 2011. 和歌山県田辺湾とその近隣海域におけるムラサキイガイの激減とミドリイガイの激増. 日本生物地理学会会報, 66: 75-78.
- 久保田 信・田名瀬英朋・武藤望生・東海林 明・木村一晶・中坊徹次. 2011. 和歌山県田辺湾における2011年冬季の異例の数の凍死魚の漂着. 漂着物学会誌, 9: 13-16.
- 久保田 信. 2012. 和歌山県で発見された稀少種スタレハマグリ(二枚貝綱:マルスダレガイ科). Molluscan diversity, 3(2): 92-94.
- 前岩 崇. 2012. 和歌山県のスタレハマグリその後. 本覺寺杼貝, (65): 25-26.
- 松隈明彦. 2000. マルスダレガイ科. In 奥谷喬司(編) 日本近海産貝類図鑑, 1002-1019. 東海大学出版会, 東京.
- Matsukuma, A. 2004. 77 additional marine bivalve species from Wakayama Prefecture – a supplement to A CATALOGUE OF MOLLUSCS OF WAKAYAMA PREFECTURE, THE PROVINCE OF KII – I. by T. Habe. Publ. Seto Mar. Biol. Lab., Special Publ. Series, VII, 9-51.
- 大垣俊一・田名瀬英朋・和田恵次. 2001. 和歌山県田辺湾内之浦の海岸生物記録種 1976–2001. 南紀生物, 42: 102-108.

(Received Oct. 20, 2014; accepted Oct. 27, 2014)



Fig.1 The largest and smallest specimens of dead shell of *Katelsysia japonica* found from Uchinoura mud flat, Tanabe city, Wakayama Prefecture, Japan in 2014.

<sup>1</sup> 〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町459 京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所

<sup>1</sup> Seto Marine Biological Laboratory, Field Science Education and Research Center, Kyoto University, Shirahama-cho 459, Nishimuro, Wakayama Prefecture 649-2211, Japan